

講義名	研究演習
講義コード	15028
担当教員	藤本 次郎
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限
備考	

## ゼミ

3. 学部ゼミ・学科ゼミ

## 学部

人間社会学部

## 学科

人間社会学科；観光学科；人間健康学科

## 演習名

藤本次郎ゼミナール（福祉心理学）

## 概要説明

福祉の対象となる人々は、子ども、障害がある人、高齢者など多岐にわたります。これらの人々は、「児童虐待」、「知的障害」や「発達障害」、「認知症」など心理学的な観点から対応すべき課題を伴っていることがしばしばであり、実際の支援にあたっては、当然のことながら心理学的な観点からのアプローチが求められます。本研究演習で学ぶ「福祉心理学（Psychology of Human Services）」は、このような福祉現場で対象となる人々のさまざまな生活問題の支援にあたり、心理学の研究成果や手法を社会福祉実践に応用することを科学する新しい学問です。

近年、それぞれの福祉領域において、福祉心理学の立場からの援助技法の開発が目覚しく、著しい改善例も多く報告されるようになってきました。にもかかわらず、その素養がないために旧態然とした実践が対応しかできていない福祉現場が数知れず存在することも事実です。これからの福祉実践には、福祉心理学を踏まえたアプローチが不可欠と考えます。

本研究演習では、被虐待児、障害児・者、認知症高齢者など、福祉的な観点からだけではなく心理学的な観点から対応すべき課題を伴っている人々の支援に応用できる、社会福祉の側面からのアプローチと心理学的な観点からのアプローチの融合させたアプローチ法を研究します。そして将来、福祉対象者の支援にあたる専門職として、福祉的側面の課題だけでなく、対象者の心理的課題に対する洞察と分析、それに基づいた援助プログラムの立案、そして適切な援助を実施する能力、つまり福祉心理学的素養の身に付け、「心理に強い福祉職」が「福祉に強い心理職」になることを目指します。

## 学位

文学修士

## 教員よりの要望

向学心に燃えつつも、課外活動や余暇活動も楽しんでいる方を歓迎します。本や専門雑誌を読むことが好きな方やボランティア活動に関心がある方であれば、申し分ありません。

## 教員英字氏名

Fujimoto Jiro

## 研究室

研究棟 5424研究室

## 最終学歴

関西学院大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程後期課程単位習得満期退学

## 主な研究活動・社会活動・研究業績

- 研究活動
  - ・主として兵庫県下の障害児・者支援施設において、ケア会議のスーパービジョンや利用者とその家族等の心理相談や発達相談を通して研究活動を行っています。
  - ・対象機関：障害者多機能型事業所、障害者生活介護事業所、障害者就労継続支援事業所、医療型障害児入所施設、児童発達支援施設など
- 社会活動
  - ・西脇市障害者地域支援協議会会長
  - ・三木市地域自立支援協議会会長
  - ・明石市障害者介護認定等審査会委員
  - ・神戸市社会福祉協議会神戸安心サポート委員会委員
  - ・社会福祉法人播磨事業会理事
  - ・公的機関、障害者支援施設等での研修講師、心理スーパーバイザー
- 研究業績
  - ・「社会福祉への招待」（ミネルヴァ書房、2003年）
  - ・「三訂福祉実習ハンドブック」（中央法規、2003年）
  - ・「働く自閉症者のための作業改善の工夫とアイデア」（エンパワメント研究所、2006年）
  - ・「社会福祉を学ぼうとする学生へのメッセージ」（みらい、2009年）
  - ・「ソーシャルワーク実習」（久美書房、2011年）
  - その他
    - ・社会福祉士（登録番号 25105）

## 主な卒業論文のタイトル

- ・知的障害者のレクリエーション活動について
- ・働く知的障害者の余暇活動とその効果－事例研究を通して－
- ・障害者のきょうだい支援
- ・知的障害者の雇用支援について
- ・障害者就労継続支援事業所の現状と課題
- ・アスペルガー障害者の凶悪犯罪についての考察
- ・福祉を学ぶ学生におけるボランティア活動の意義－知的障害児・者福祉を中心に－
- ・福祉専攻学生の社会福祉に対するイメージに関する研究
- ・障害を持つ人の住環境整備について
- ・誰もが住みよい街を目指して－福祉の街づくり－
- ・施設コフレクトにある地域住民と関係者の心理
- ・ドメスティック・バイオレンスについて
- ・音楽療法がもたらす高齢者の生きがいに関する研究
- ・認知症高齢者の在宅介護－家族支援の役割－
- ・老人施設へのユニットケア導入の効果についての研究
- ・ユニットケア・個室化から考える高齢者施設のケアの質についての研究
- ・痴呆性高齢者グループホームの有効性に関する研究
- ・今後の高齢者世帯のあり方に関する研究

## 趣味・特技

趣味はB級グルメ。以前は休日になると家族で出かけていたのですが、最近はもっぱら一人でさみしく楽しんでいます。最近は麺類や丼もの、洋食にはまっており、うまいと噂を聞くとか戦を見つけて出かけております。ただし、メタボリック症候群のため、ほどほどにせねばなりません。

## 所属

人間社会学部人間健康学科スポーツマネジメントコース

## 所属学会

日本心理学会、日本福祉心理学会、日本職業リハビリテーション学会、日本発達障害学会、関西心理学会

## 専門分野

福祉心理学、障害者福祉

## 選考方法

申込書の内容と個別面接により当研究演習への適性を判断しますので、登録の前には、必ず個別面接を受けてください。面接では、当研究演習に何を期待されるか、当研究演習で何を研究されたいのかなどを聞かせていただきます。将来、何らかの形で福祉関連か心理関連の職業につきたいと考えている方なら、大歓迎です。

## 担当科目

障害者心理学、心理学演習（援助に活かす発達検査）、障害者福祉入門、障害者福祉論、就労支援サービス、研究演習、研究演習、卒業研究

## 備考

先輩から後輩たちへ  
・障害者福祉に興味のある方は、絶対に藤本ゼミをおすすめします！藤本先生の福祉現場の話はおもしろいです。社会に出て、いざ支援をする側に立ったときに必

## 評価方法

学問に対する真摯な態度、研究に対する熱意、自発的な学習態度、演習への参加度、研究成果などを総合的に評価します。